

町長就任1年、町の現状と課題は



備前島久仁子



町長

人口の増加 財政の健全化が課題

質問 人口の増加を図り、財政の健全化を果たすためには何が必要か。

答弁 町長 若い人が町に増えやすい環境や教育が充実していること、若者の雇用があることが必須である。

子育て支援として、学校給食費の支援や放課後児童対策を来年の施策として考えている。

質問 その他の課題は。また、町民の意見が多いのは。

答弁 町長 少子高齢化社会や建物・道路の老朽化、また自治体の組織や機能が硬直化を来し、新しい変化に対応しにくくなっている。

意見としては、学校の3学期制への要望や、交通が不便で移動が難しい等が多かった。

多子世帯支援として、保育料の完全無料化を

質問 町では第3子以降の保育料無料化を実施している

が、無料になっていない世帯がある。幼稚園や保育所の別に関わらず、町の単独補助として無料にして、子育て支援をしてほしい。

答弁 町長 平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」が始まったが、これに移行していない私立幼稚園がある。

そこに通う第3子以降の保育料については、世帯の所得課税額によって該当しないケースもあり、現在無料でない世帯が2件ある。



子育て支援のさらなる充実を

高齢者が住みやすい地域をつくる取り組みは

質問 「笑顔で暮らせるまちづくり協議体」の背景と取り組みは。

答弁 町長 9年後には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護費がさらに増す。地域で助け合えるような「ふれあいの居場所」を増やし、通院や買い物への交通手段に企業と連携していく。さらに食事支援に向けアンケート調査を実施し、また担い手の発掘も進めていけるよう取り組んでいく。

※1「笑顔で暮らせるまちづくり協議体とは」ふれあいの居場所・民生委員・NPO等の代表者で構成され、高齢者支援を行う組織。

JAしばね支店跡地の取得状況は



石川眞男



町長

財政状況等を勘案し検討している

質問 JAしばね支店跡地の取得について、現在のどのような状況か。

答弁 町長 芝根9地区の全区長の要望であり、議会でも請願が採択されたことを重く受けとめている。

跡地利用としてはコミュニティセンターや「玉村町版生涯活躍のまち」構想の地域拠点としての活用などが考えられるが、役場周辺地区公共施設等高度利用計画※2との連携や財政状況を勘案し、検討している。



さまざまな活用が検討されているJA跡地

宿泊施設を誘致する時期ではないか

質問 354号バイパスが開通し、町外に行きやすくなった反面、町内の活気がなくなるようでは困る。

答弁 町長 「観光の町」と言うなら、単なる通過の町とするのではなく、訪れた人の滞留政策として宿泊施設の誘致を検討する時期ではないか。

答弁 町長 道の駅玉村宿を町光推進に努めるとともに、宿泊施設の誘致も研究していきたい。

公平感ある人事評価制度への取り組みは

質問 公平感ある人事評価のため、どのような取り組みをしているか。

答弁 町長 毎年、評価者、被評価者を対象に人事評価の研修をし、これらを継続する中で評価の見直しを重ねながら、

公平で納得のできる人事評価制度としたい。

協働社会の推進を

質問 協働のまちづくりに果たす住民活動サポートセンター「ぱる」の役割認識と今後の展開を問う。

答弁 町長 「ぱる」は協働によるまちづくり推進のための重要な役割を担っている。今後は住民と行政のみならず、企業などとのさらなる連携に努め、より自立した幅広いサポートセンターを目指した事業展開をしたい。

答弁 経営企画課長 「ぱる」は一般社団法人たまむら住民活動支援センターへ業務委託しており、そちらの理事・職員と役場の担当課が協議をして進めていく。

※1「玉村町版生涯活躍のまちとは」11ページを参照
※2「役場周辺地区公共施設等高度利用計画」とは11ページを参照